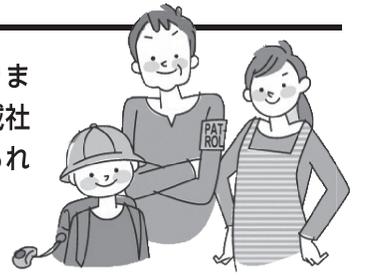


# そばにいるよ

子どもを見守り、育てる。居場所づくり

子どもには、大切な4つ権利があります。子どもたちの思いを尊重し、地域社会全体で子どもたちへの支援が求められています。



子どもたちも考え  
行動しています

「子ども条例」では、子どもの権利を尊重していく大人たちの役割はもちろん、子どもの取り組みも定めています。「ばりっ子すくすく計画」でも、子どもの行動指針として、

▼自分を大切にしよう。そして家族や周りの人も大切にしよう。

▼いろいろな方法で自分を表現し、自分を高めていこう。そのことよって周りの人に迷惑を掛けたり、傷つけたりしないように気を付けよう。  
と示しています。



子どもたちの催し ばりっ子モール

名張市子ども条例

## 子どもの大切な4つの権利

### 生きる権利

～子どもが安心して生きるために～

命が守られ、大切にされ、安心して生活することができます。

### 育まれる権利

～子どもが家庭や社会、学校などで一人の人間としてよりよく育つために～

自分の考えや個性が大切にされ自分らしく育つことができます。

### 守られる権利

～子どもの健やかな育ちを守るために～

安心して育つために、さまざまな暴力やいじめなどから守られます。

### 参加する権利

～子どもが自ら社会に参加するために～

自由に意見を言ったり、集まってグループを作ったり、いろいろな行事に参加することができます。

市民の関心と理解を深めるため設定している**子どもの権利を考える週間(11月21日～27日)**には、子どもたちが子どもたちのために企画した催し、リアルお店屋さんごっこ「ばりっ子モール」を開催。店員として働く子どもたちが、市内約200人の子どもたちを招待して大盛況でした。

また、百合が丘の放課後子ども教室「百合小こどもクラブ」を卒業した中学生は、自分たちで何かやってみたいと同クラブのコーディネーターに相談したのがきっかけで、今、さまざまなまちづくり活動を実践しています。

卒業したクラブの運営の手伝いはもちろん、夏祭りや小学校の運動会のテント張り、市民センター祭りの企画・運営、地域の道路清掃…。彼らは頼れるまちづくりの一員となり活躍しています。

「小学校の時から、さまざまな形で地域のボランティアの皆さんが私たちを支えてくれた。そして私たちの活動のきっかけを作ってくれた。このまちが大好きだから、

子どもは地域の宝であり、将来社会を支えていく大切な担い手です。全ての子どもたちが未来に希望を持ち、健やかに育つ社会を目指して、家庭や学校だけでなく、地域社会全体で子どもの成長を見守り、支えていくことが求められています。

### 皆で子どもたちの成長を支えよう

ら、できることは何でもやってみよう。高校生になってもできることは続けたい」彼らは笑顔で話します。



まちづくり活動を行う中学生で構成された百合が丘のメンバーたち

## 信頼できる大人がそばにいるよと伝えたい

将来どうなるんだろうと不安が大きな時代。今の大人は忙しく大変です。そんな社会を子どもたちは実に敏感に感じています。日本の子どもは他の国々に比べると、愛されている自信がなく、自己肯定感が低いと言われています。大人中心の社会では、子どもの声が届きにくく、子どもの問題は、子どもがいる世帯だけのことだと考えられがちです。

未来ある子どもたちは、社会全体で育てていかなければなりません。名張市では、子ども条例が制定されています。条例で

は、子どもにとって当たり前の基本的な権利を皆で大切にしていくことや子どもにとって一番良いことを考えていくことを定めています。この条例のことを多くの市民の皆さんに認識してほしい。そして一緒に考えてほしい。子どもたちにも見える形で発信し続けてほしいと思います。

私たち大人は、子どもたちに対して、困ったときには助けてくれる、見守ってくれている大人がそばにいるということを示していかなければなりません。そして、子どもたちに、このまちで生まれて良かったと思ってほしいですね。



名張市子ども権利委員会  
委員長 檜垣 博子 さん  
(元皇學館大学教授)